株式会社 宇野牧場

独自の商品開発と併せ、新しい酪農のカタチを追求

活動分類 ■食・産業・観光

代表者：宇野 剛司
連絡先：
〒098-3314 天塩郡天塩町字サラキシ
2015 番地の 2
TEL・FAX：01632－2－3218
活動地区：天塩町

活動背景・目的

多角的に天塩産ブランドの確立を考える。

通常は酪農家しか食べられないものを流通するという趣旨から、牛乳豆腐を元に開発された『トロケッテ・ウーノ』。『ウーノ(1番の)』という意味も持つこの商品を皮切りに、宇野牧場、ひいては天塩全体の酪農の活性化を図りたいとしています。独自に考える『良い土』のあり方と、牛にとって快適な牧場づくりに注目した酪農を展開し、新しいスタイルの放牧の研究にも余念がありません。天塩という環境にある牧場だからこそ出せる味と、商品開発や新しい酪農システムづくりでブランド力をつけようと尽力しています。

▲『パンナコッタ・ウーノ』(左)と『トロケッテ・ウーノ』(右)

活動内容

・商品の販売と開発
『トロケッテ・ウーノ』のほか、数種類のスイーツを道内外で販売。より多くの物産展等への参加に向け、以前から要望のあった生乳のほか、ヨーグルトやアイス、ソフトクリームなどの乳製品を開発し、販売しています。現在販売しているスイーツは、オンラインショップはもちろん、札幌と有楽町のどさんこプラザ、新千歳空港のミルクスタンド、神奈川県川崎市の北海道ライブマルシェなどで購入できます。

・牧場の新スタイル導入に向けて
土中の微生物の操作による『動物にとって良い土』の研究のほか、国内では全く導入されていない新しい放牧のスタイルに着目し、ニュージーランドで実践中の農家や、機材メーカーとの意見交換を重ね、放牧酪農を導入し、現在は、ドローンと AI で放牧を行う「スマート農業」の実証実験を行っています。また、2019 年には、有機飼料(牧草)・有機配合飼料(ミルク)・有機加工品(乳製品)の3つの JAS 認定を取得しています。

▲新しい放牧の仕組みを研究中

今後の展望・課題など

○展望
・地元農家との連携を強め、個人では難しい天塩産ブランドの確立を実現する。

○課題
・天塩町の農業に不足している魅力の回復によって、離農の進む天塩の現状を改善する。